

食品中の放射性物質検査の結果

食品中の放射性物質検査の結果、すべて検出されませんでした※1。

※1 検出できる限界値に満たない値であったことを意味します。(検査の性質上、個々の食品検体によって変わります。)

国の検査は、水産物では海の魚は7自治体、淡水魚は9自治体が、国の原子力災害対策本部の考え方を踏まえた検査計画に基づき実施しています。

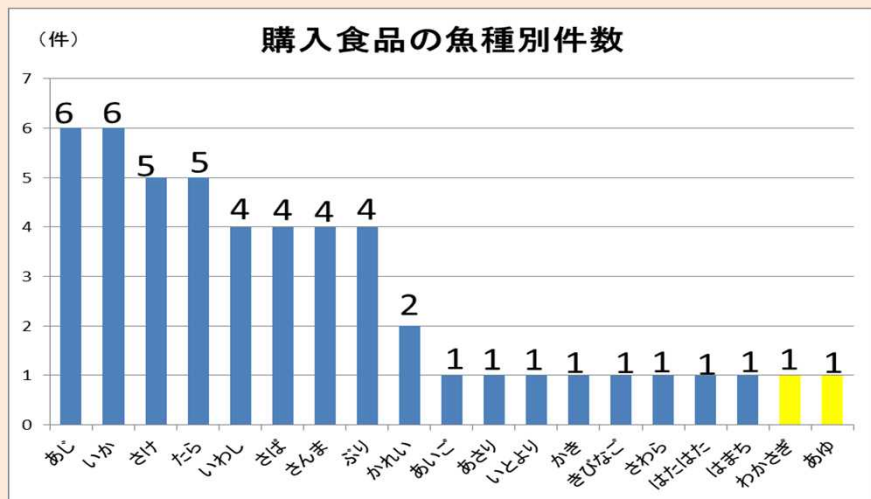
(詳しくは「食品中の放射性物質って何だろう?」の「【参考】国および他の自治体での取り組み状況」をご覧ください。)

滋賀県では、国の出荷制限等の対象魚種、対象道県に限定せず購入し検査しています。

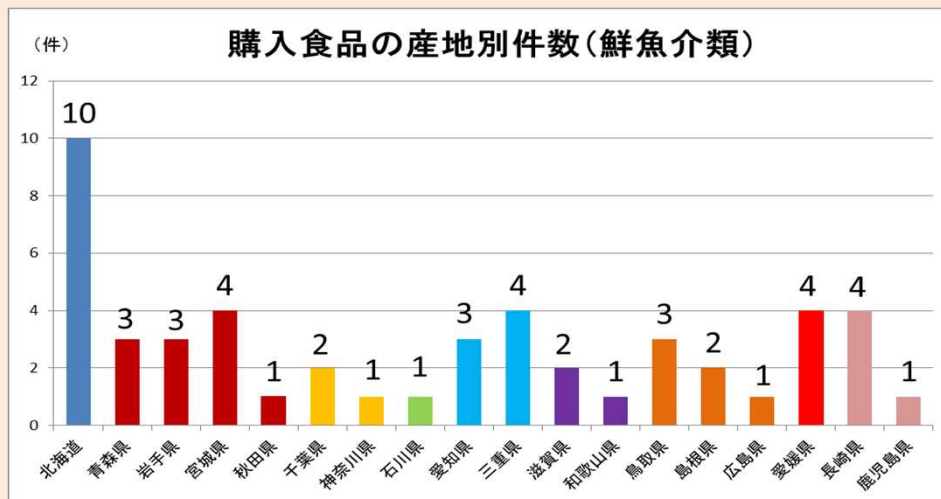
Q どんな食品だったの?、産地は?

○鮮魚介類 計50件 海の魚：48件、淡水魚：2件

魚種別



産地別



魚種別、産地別一覧

魚種	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	千葉県	神奈川県	石川県	愛知県	三重県	滋賀県	和歌山県	鳥取県	島根県	広島県	愛媛県	長崎県	鹿児島県	計
あじ				1				1		1		1				1	1		6
いか		3		1										2					6
さけ	3		1	1															5
まだら	3																		3
たら(まだら以外)	1												1						2
いわし									2	2									4
さば			1			1				1								1	4
さんま	1		1	1		1													4
ぶり													1			1	2		4
かれい	2																		2
あいご																1			1
あさり									1										1
いとより																	1		1
かき															1				1
きびなご																1			1
さわら							1												1
はたはた					1														1
はまち													1						1
わかさぎ												1							1
あゆ												1							1
計	10	3	3	4	1	2	1	1	3	4	2	1	3	2	1	4	4	1	50

3 : 購入食品の魚種のうち、国が定めている対象品目および対象自治体

【内訳】

1.魚種

海の魚 18種類

淡水魚 2種類

} 20種類

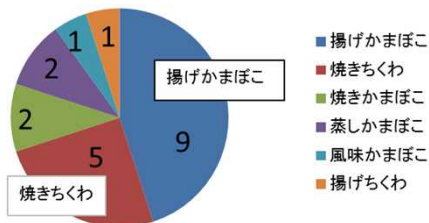
2.産地

計18道県

検査したもののうち、国が定めた出荷制限の対象は、北海道産まだら3件のみであり、**すべて不検出**でした。

○魚肉練り製品 計20件

種類別検査件数



左図の食品の具体例

- 揚げちくわ
例：野菜カツ 等
- 揚げかまぼこ
例：さつま揚げ、じゃこ天 等
- 風味かまぼこ
例：カニかまぼこ 等

原材料の魚肉の表示状況	件数
(原材料の魚肉の表示なし)	18
いわし、太刀魚、あじ、その他	1
たら、えそ、れんこだい	1

これまでの検査結果はどうだったの？

滋賀県は国が定める対象自治体ではありませんが、県民の食への不安を取り除くため、平成23年11月から独自※2に放射性物質の検査を実施しています。

○検査対象食品： 県内で製造または流通している食品（生鮮野菜、鮮魚介類、加工食品等）

※2 他の自治体でも独自に検査を実施しています。

※3 暫定規制値として、平成24年3月31日まで実施していました。

【参考】過去の本県の検査状況

年度	実施期間	検査件数	不検出件数	検出件数 (基準値以内)	検査項目
平成23年度	11月から3月	45件	45件	-	放射性ヨウ素-131※3 放射性セシウム-134 セシウム-137
平成24年度	4月から2月	186件	186件	-	放射性セシウム-134 セシウム-137
平成25年度	4月から2月	186件	185件	1件	放射性セシウム-134 セシウム-137

過去3年間も、食品中の放射性物質の違反はありませんでした。